

令和5年度 社会福祉法人 宏量福祉会 第三者委員会実施報告

日時 令和6年5月14日（火） 17:00～18:00

場所 野菊荘 学童室

出席者：空閑浩人委員、流石智子委員、清水教恵委員

（野菊荘）3名（京都市DV相談支援センター）1名

（山ノ内児童館）1名（常磐野児童館）1名（ひだまり・ホット・みやこ）1名

「令和5年度、委員への苦情・相談は無し」と流石委員、清水委員、空閑委員より報告
各機関より報告内容

○ひだまり・ホット・みやこ

事故 1件

利用者アンケート集計結果 報告

○常磐野児童館

事故報告書 2件、ヒヤリハット 3件

令和5年度京都市常磐野児童館学童クラブ利用者評価アンケート 報告

2023年度学童クラブ利用者アンケート 報告

○山ノ内児童館

ヒヤリハット 3件、苦情 1件、事故1件、避難報告 2件

令和5年度京都市山ノ内児童館学童クラブ利用者評価アンケート 報告

○野菊荘

ヒヤリハット 3件、器物破損 1件、意見箱 4件

○京都市DV相談支援センター

苦情・要望対応 2件、秘密保持に関するリスク対応報告 1件、

その他リスク要因のある対応 4件、加害者側からの問い合わせ・行動についての対応 1件

迷惑行為への対応、苦情・要望対応 1件

○全体総評

・既に対応されていると思うが、問題、対応が複雑化しているため、各機関でも連携協力してもらえればと思う。

・対応が難しいことでも、対策を考え前向きにとらえ努力していることが伝わった。問題解決のための対策が取られている。

・毎年1年間で多くの報告があるが、些細なことから丁寧に対応していくこと、共有できること、連携が大切である。組織内で失敗を隠さず、共有、フォローできることが大切である。

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	京都市山ノ内児童館	施設種別	児童館
評価機関名	特定非営利活動法人 きょうと福祉ネットワーク「一期一会」		

令和 6 年 5 月 2 2 日

総 評	社会福祉法人宏量福祉会は長年にわたって地域とともに時代と地域のニーズに応えながら、事業拡大を果たしてきました。 その拠点の一つである京都市山ノ内児童館は、住宅が密集した地域にあり、基本理念「つどう つながる ささえあう」を掲げ、児童館運営のほか子育て支援の拠点として基幹ステーションの役割を果たしています。また、隣接している同一法人の母子生活支援施設「野菊荘」とは連携を図りながら地域支援を行っています。 児童館活動の内容については、定期的に発行している広報誌のほか、ホームページに毎月掲載され、利用しやすい工夫をされています。いろいろな年齢の子どもの遊びや行事など異年齢のふれあいを通して、情緒豊かな心の育みの場となっています。 また学童クラブは、放課後の児童たちの生活の場として、家庭的な暖かい雰囲気大切にされています。また、法人連携の中で小学生を対象にしたおかわり食堂や中高生を対象にしたワライバでは、様々な子どもが、集える場で、特記すべき取り組みといえます。 運営面においては、前回の第三者評価事業の受診を受け、真摯に改善を図るなど質の向上に努めておられます。また、職員の情報共有の仕組みづくりや業務の効率化に向けアプリの導入を図るなど積極的に働きやすい職場づくりを行っていました。 地域に向けた幅広い取り組みを実践されている山ノ内児童館は、まさに地域で暮らす人々のつながりを深める地域コミュニティの中心拠点となっています。今後もますます発展していかれることを期待します。
特に良かった点(※)	I-3 管理者の責任とリーダーシップ 管理者の役割と責任は、組織図、職務分担表に明記しています。対外的には、発行物に館長のコメントを掲載して方針を伝えています。また、質の向上に意欲を持ち、「計画書・協議書・報告書」の書式で職員間で意見等を共有する事や保護者アンケートからの声も運営に反映するなど日常的に取り組んでいます。業務の効率化や業務の改善についても、webさくらやチームスの導入し業務の効率化などに取り組みリーダーシップを発揮しています。 II-4- (1) ②利用者と地域とのかかわりを大切にしている。

	地域とのかかわりについては理念と基本方針に明記しています。「山ノ内地域子育て支援ネットワーク会議」の事務局を担っており、地域のネットワーク構築に取り組んでいます。 また、なかよしサロン、地域の小学生を対象にした「おかわり食堂」、小中学校との連携など積極的に地域活動を行っています。 A-8 ②児童館の活動内容をわかりやすく知らせ、利用促進につながるよう創意ある広報活動が行われている ホームページを作成し、毎月の日程を掲載しています。また、児童館だよりを地域全戸配布しています。広報活動の効果等については定期的に検討するとともに児童館の活動がわかるように写真を多く使うなど工夫をしています。広報誌にはネットワーク会議の関係団体の情報も記載しています。
特に改善が 望まれる点(※)	Ⅱ-2- (1) ②人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。 定期的な人事考課については、法人の他事業所では実施されていますが、山ノ内児童館としては実施されていませんでした。検討中ということですが、職員の目標管理等の仕組みを整備されることをきたいします。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。